

生活と文化

「文化」と聞いて何を連想するだろうか。学校の「文化祭」や「文化部」かな。それとも、日本の歴史に登場する「飛鳥文化」とか「国風文化」などを思い出す人もいるかもしれないね。

「文化」という言葉にはいろいろな意味があって、ひとりで説明するのは難しい。でも、ひとつ言えるのは、文化は僕らの生活と強く結びついているということだ。いや、むしろ文化は生活そのものだ。だから、自分たちの文化は、ふだん当たり前すぎてなかなか意識しない。この章では、文化が僕らの生活とどうかかわっているか、また、文化の役割と課題について、理解を深めていこう。

この章のポイント!

「生活と文化」のキーワード

① 科学・宗教・芸術 ② 伝統文化 ③ 多文化共生

理解を深めるエッセンス★

「文化」とは何か。また、日本の「伝統文化」と世界の「外国文化」が共存するための課題はどんな点にあるのだろうか。

テーマ

5 生活と文化の役割

生活と文化

「文化」とは、それぞれの地域でおこなわれてきた生活や行動、考え方、それによってつくられてきたもののことだ。

たとえば、玄関で靴を脱いだりすることや、自宅で自分専用の箸を使って食べたりすることは当たり前のことだよ。でも、これは世界的に見れ

ば、独特な習慣なんだ。このような生活習慣や「日本語を話す」「あいさつではお辞儀をする」といった行動も、日本独特の「文化」といえるよ。

科学・宗教・芸術

文化の代表的な3つの領域に科学、宗教、芸術がある。

① 科学

科学は、**人びとの生活を向上させる**のに役立ってきた。

たとえば、食料生産技術を発展させて、食べ物を安定してつくることができるようにしたり、長期間腐らずに貯蔵できるようにしたりして、多くの人を飢えから救っている。

航空技術の発達は、短時間で長距離の移動を可能にしているし、医療技術の発達は病気やけがを治し、命を救っているよね。

② 宗教

神や仏などの人間を超えた存在を信じることなどにより、宗教は**心に安らぎを与えている**。ふだん宗教になじみがない人でも、正月には神社に初詣に行く人は多いよね。実は、日本にある寺院の数って、コンビニエンスストアの店舗数よりもずっと多くなって知ってた？ 歴史の教科書を開いてみても、宗教がいかに人類に大きくかかわってきたかがすぐ思い出せるはずだ。

③ 芸術

美術館に行って絵画鑑賞をしたり、音楽のコンサートに行ったりするなど、芸術は**心を豊かにさせてくれるもの**だ。小説を読んだり、映画を観たりするのも、芸術に触れることだといえるよ。

文化の役割と課題

文化にはプラス面があると同時に、マイナス面もある。

たとえば、科学技術によって生まれた原子力は、生活するためのエネルギーに使われると同時に、原子力発電所のように、ひとたび事故が起これば大きな危険をもたらすこともある。

同じく、戦争で使われるようになったダイナマイトは、もともとは土木

作業のための道具として開発されたものだった。

また、心に安らぎを与えてくれるはずの宗教も、異なる宗教や宗派を信じる人たちの間で対立や紛争が起こり、多くの死者が出ている。文化にはこのようなマイナス面もあるということを理解して、どのように暮らしと平和に役立てていくかという課題に、取り組んでいく必要がある。

山し くわしぐく ダイナマイトとノーベル賞

ダイナマイトを発明したスウェーデンのアルフレッド・ノーベル（1833～96年）は、ダイナマイトが戦争に使われたことに驚きました。そこで、ダイナマイトによって得た財産をもとに基金をつくり、科学や文学、平和に力をつくした人に賞を贈るように遺言を残しました。こうして、1901年からノーベル賞が与えられるようになりました。ノーベル賞には平和賞、物理学賞、化学賞、生理学・医学賞、文学賞、経済学賞の6部門があります。

テーマ 6 伝統文化

伝統文化とは

「日本では、大陸文化の影響を受けながら、日本独自の文化が育ってきた」ということを、歴史ですでに学んでいるよね。

たとえば、漢字は中国から朝鮮半島を経由して日本に伝えられたものだけど、その漢字をもとにして、平安時代に平仮名や片仮名がつけられた。このように、長い歴史の中で生まれて、人びとに受けつがれてきた文化を**伝統文化**というよ。



伝統文化って、歴史の教科書に出てきた能や歌舞伎、茶道なんかのことですね？

そのとおりだよ。さらに、能や歌舞伎のように一部の専門家によって受けつがれてきた芸能だけでなく、庶民の生活の中で受けつがれてきた衣食住、年中行事、冠婚葬祭などの伝統文化もあるよ。

たとえば、正月に雑煮を食べたり、春に花見を楽しんだり、入試が近づくと神社に合格祈願の絵馬を奉納したりする。節分や七五三など、毎年特定の時期におこなわれる年中行事も伝統文化だね。



[歌舞伎]



[茶道]



[能]

日本文化の地域的多様性

日本には国の独特の文化があるように、日本の中の各地域にもそれぞれの文化がある。たとえば、正月に食べる雑煮も、中に入れるもちが四角か丸か、焼くか焼かないか、すまし汁かみそ仕立てかなど、地域によって違いがあるんだよ。

また、日本には**アイヌ文化**と**琉球文化**という文化があるよね。

アイヌ文化は、北海道や樺太(サハリン)、千島列島を中心に暮らしてきた先住民族アイヌによって受けつがれてきた文化だ。

7 多文化共生

日本文化と外国文化

日本の文化の中には、世界で広く受け入れられているものが数多くあるのを知っているかな。すしや天ぷらなどの日本食文化は世界中で人気があるし、柔道や空手といったスポーツや、日本の漫画やアニメも海外に広がっている。

「もったいない」という日本人の価値観を表す言葉は、ケニア出身の環境保護活動家でノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイさんによって世界に発信された。ごみを「減らし（リデュース）」、まだ使えるものを「再び使用し（リユース）」、ごみを「再生利用する（リサイクル）」という3Rの考え方をすべて含んだ言葉として、世界中に広がっているよ。

逆に、いろいろな文化が世界から日本に入ってきて、日本の文化に影響を与えている。もちろん、それは古代からずっと続いてきたことだ。ただ、昔は使節団のメンバーや留学生、渡来人など限られた人が文化を運んできたけれど、グローバル化と情報化が進んだ現在では、多くの一般の人たちが音楽やファッションなどの文化を日本に持ちこむようになってきている。

多文化共生と異文化理解

多様な文化がまじわると、差別や偏見へんけんが生まれることがある。それが大規模になると、武力を用いた争いに発展することもある。僕らは国籍や民族、宗教などの異なる人たちの文化をおたがいに認め合いながら生活をする必要があるんだ。このことを多文化共生というよ。

そして、この多文化共生を実現していくためには、異文化理解が必要だ。異文化を理解することは、自分たちの文化に対する理解を深めることにもつながるんだよ。

文化に優劣をつけず、いろいろな文化や考え方を持つ人たちが協力し合うことで、より良い社会を築いていくことができる。

琉球文化は、かつて琉球王国だった沖縄おきなわや奄美群島あまみの人びとによって受けつがれてきた文化のことだったね。

このように、各地域に多様な文化が存在することで、日本の文化は豊かなものになっているよ。



【アイヌの古式舞踊】



【沖縄の伝統芸能「エイサー」】

ところで、伝統文化にも課題がある。それは、少子高齢化や人口が急速に減るといふ過疎化によって、日本各地に昔から受けつがれてきた祭りや芸能などの伝統文化を引きつぐ若者が少なくなり、伝統文化がなくなりそうなことだ。

こうした事態に対して、国や都道府県、市(区)町村は、文化財保護法にもとづいて、文化の保存に努めているよ。

文化財の種類

文化財保護法とは、文化財の保存と活用について定めた法律です。法隆寺金堂壁画の焼損をきっかけにして、1950年に制定されました。有形文化財（建造物・絵画・工芸品など）、無形文化財（演劇、音楽、工芸技術など）、民俗文化財（衣食住、信仰、年中行事など）、記念物（古墳、貝塚、城跡など）、文化的景観（里山や棚田など）、伝統的建造物群、の6種類が規定されています。